

JSCA関西H27年度研修旅行 旅行記

(11月13~14日)



株式会社 能勢建築構造研究所
新井 康輔

□はじめに

2014年にJSCAに入会しました。入会後はデザイン発表会や若手講習会に参加させていただいています。この度、研修旅行にも参加させていただけたこと感謝しております。事務局の方々並びに参加されていた方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

□初日見学

研修先は兵庫県淡路島でした。研修というタイトルでしたので、緊張を覚えながら参加していました。

大阪駅前に集合し、バスに乗り込みスタートです。初日のスケジュールは、

- ①野島断層保存館の見学
- ②淡路夢舞台の見学
- ③洲本図書館の見学
- ④ホテルでの宴会(懇親会)

となっています。

参加されていた皆様は、発表会の発表者や講習会の講師としてお見かけする方が多く、私が一方的に知っているだけで面識のない方がほとんどでした。野島断層への道中、私は会社の先輩と座っていたので、仕事の話しながら進んでいました。

目的地に到着し、バスを降りた所で、嶋崎さんに「仕事の話してまじめやな」と笑顔で話しかけていただき、少し緊張がとけました。見学前には保存館の概要を説明していただき、断層の見学だけでなく、建物の構造にも注目して見る事ができました。

阪神大震災があった1995年は京都に住んでいたので大きな揺れを体感しました。しかし自宅周辺に建物被害はなく、当時小学生だった私にとってはどこか遠い所での出来事だったので、実際に動いた断層を見ることができ貴重な体験となりました。

お昼になると今度は淡路夢舞台へ移動しました。昼食の席では先輩技術者の貴重なお話を聞かせていただき、とても楽しい時間を過ごせました。

淡路夢舞台の見学は国際会議場から始まり、ホテル、海の教会、百段苑、楯門フォーラムと、見所たくさんでした。この頃にな

るとポツポツと雨が降り出し、大降りに備えて傘を持ち歩きましたが、ありがたいことになんとか持ちこたえてくれました。

初日の最後の見学は洲本市立図書館・洲本アルチザンスクエアです。この赤レンガ造の建物群は紡績工場をリノベーションして図書館や産業、工芸、アートを紹介する施設として生まれ変わったもので、当時の風情そのままを体感できます。

同業者の先輩方と観光しているため、疑問に思ったことはとにかく聞いてみようと思ひ、色々な方に話しかけていただきました。みなさん優しく答えてくださり嬉しかったです。



洲本市立図書館とアルチザンスクエア

□メインイベント?

図書館からすぐのところには宿泊するホテルがありました。目の前が海で、夏には海水浴もできる砂浜となっています。メインイベントである夕食・宴会まで少し時間があつたので、温泉に浸かり、普段味わえない開放感を味わいました。

いよいよ夕食・宴会です。会場にはもうすでにほろ酔い?の方もチラホラいらして、盛り上がりそうな雰囲気でした。

はじめに開会の挨拶があり、その後軽い自己紹介がありました。緊張しましたが、なんとか爪あとを残そうと知恵を振り絞って笑いを取りにいきました。

少しは笑って頂けたと自負しております

が、覚えていただけたでしょうか。

おいしい料理に舌鼓を打ちながら、また、事業委員会の方が用意してくださったクイズ大会を楽しみながら、アツという間に時間は過ぎていきました。宴会後、宿泊部屋で二次会が開催されました。自由参加でしたが、全員参加でした。

□最終日

- ⑤戦没学徒記念館の見学
- ⑥福良港津波防災ステーション / 淡路人形座の見学
- ⑦各コースに分かれて観光

A: 大塚国際美術館

B: 大鳴門橋・渦潮観光

戦没学徒記念館は瀬戸内海を見下ろせる見晴らしの良い所にありました。

福良港では2棟の特徴的な建物を見学しました。防災ステーションは内部にも入ることができたので、じっくりと見て廻りました。

最後は、私は大鳴門橋へ渦潮を見に行きました。船の上から、橋の上からの両方で渦潮を見ましたが、船上では転覆するのではないかとこのうねりで自然の脅威を体感でき、橋の上では高所恐怖症を再確認し、ゆっくりと慎重に歩いて楽しみました。

□おわりに

研修旅行を終えて思ったことは、皆さんとても仲良しです。会社が違い、会社規模も違う方々が集まってここまでわいわいできるのはすばらしいことだと思います。関西という土地柄がそうさせるのでしょうか。勇気を振り絞って研修旅行に参加してよかったです。ただ、同年代の方がいらっしやらなかったのが少し残念でした。来年はこの研修旅行に若い方が増えることを願っています。女性も昨年に比べ2倍(2名)となった今回だったようですが、来年はもっと増えたらいいな、と思う次第でございます。



戦没学徒記念「若人の広場公園」を背景に